

特集

発見、体験しながら。

さくしな



Oos

MAGAZINE EPISODE.1

はじめに

# Oosの歩みと

## これから

2 023年4月、大塚地域活動センターは中央大学茗荷谷キャンパス内に移転し、新たに約193平方メートルの大塚オープンスペース(Oos)が誕生しました。「広い」「きれいい」「なんかオシャレ!」といった第一印象を持たれつつも、実はここ、ただのオシャレスペースではありません。地域住民が気軽に集い、「顔が見える関係づくりの場」としてじわじわと進化を遂げています。

Oosでは、地域の大学、企業、住民の方のノウハウを活かした多彩なイベントが開催され、地域のつながりを育んできました。たとえば、11月恒例の「クラフトフェスティバル」。地域の名人たちが、手先の器用さを見せて

ける絶好のチャンスです。「えっ、この人がこんなにすごい技を?」と驚くこと請け合い。そして、店主や地域の名物人物が語る「mTALK」では、普段なかなか聞けない話が飛び出します。「実はうちの店の出来たきっかけは、○○だった」なんて裏話に、思わず「へえ〜!」と声が出ることも。

さらに、文京ジュニア吹奏楽団の演奏や、リンディホップのダンスイベントでは、今まで活動を知らなかった、体験してみたい!と思う人が続出。おまけに、区内の出版社とのコラボ企画まで実施し、「大塚地域って魅力がある!」という印象を着実に植え付けています。

本誌では、これまでOosで生まれたつながりや活動を紹介しながら、この場がどんな可能性を秘めているのかを探っていきます。「こんなこともできるんだ!」「私も何かやってみよう!」と思ってもらえたら大成功。気軽にページをめくってみてください。これからのOosは、さらに多くの人が気軽に活用できる場として進化していきます。ここをどんな場にしていくか、それは私たち次第。あなたもOosの未来と一緒に作っていきましょう。



Oosは、中高生のための自習スペースもあります!

2025年3月にイベント開催した「ずほらのメガネ」メンバーと

# Oosで、わくわく溢れるものづくりを体験 「クラフエス」で出会う創作の世界



パンチニードル刺繍で壁飾り

文京区在住

Kana Ishie

## 石家佳奈

写真／山口彰久



茗荷谷在住。文京区内の建築設計事務所に勤務。和歌山県出身で就職を機に上京。小石川植物祭ボランティアをきっかけに、地域活動に興味を持ち、活動中。



クラフエスに参加した、文京区で活動しているアーティストたち。右より、「木樓舎 Tokyo (もくせいしゃトーキョー)」春日順哉さん (万華鏡)、\* fleur-sucre \* 佐藤ゆかさん (ヘアピン)、もりけんさん (御神木磨き)、工作室「もくもくほりねずみ」きさいちさん (レーザー加工)、「BILLY UDON」浜元信行さん (マイ箸)、「amu+」塩川千映子さん (ピースアクセサリー)、「Neutuft (ノイタフト)」つちやひさとさん (パンチニードル)

「クラフエス、楽しいっすよー」

2024年11月に入ってすぐ、一通のメッセージが届きました。「クラフエスって何だろう?」興味をそそられ調べてみると、どうやら「クラフエス」らしく、文京区内外のアトリエで活躍する作家さんたちが集まり、ワークショップを開催するようです。子供の頃から工作が好きで、「手仕事」や「ものづくり」という響きには自然と惹かれてしまう私。「新しい世界や趣味に出会えるかも!」という期待を胸に、さっそく参加を申し込むことにしました。

ワークショップは全部で8種類。当日の会場は子ども連れから大人のおひとり様まで、幅広い年代の方々と賑わっていました。各テーブルには道具や材料が次々と並べられていき、その様子に心が高鳴ります。

### 江戸の伝統工芸に挑戦…「つまみ細工」のフォトフレーム

私がまず最初に体験したのは、江戸時代から伝わる伝統工芸「つまみ細工」。小さなちりめん布を折ってパーツを作り、それらを組み合わせることで花などのモチーフを表現していきます。ピンセットを使って布を折る作業

はシンプルですが、細かさゆえに集中力を要するところ。小さなお子さんも、眉間に皺を寄せながら指先の小さな布に全神経を集中させており、その姿にほっこりします。

最後にパーツを花の形に組み立ててフォトフレームに飾り付け、ピースなどで飾り付けて完成。自分の手で初めて作り上げた伝統工芸品は想像以上の出来栄で、江戸時代から続くものづくりの楽しさに歴史のロマンが感じられます。先生の作例を見ると多彩なモチーフが並んでおり、つまみ細工が持つ表現の豊かさに感動。これは新しい趣味になるかもと心が躍ります。

### 楽しさ花咲く刺繍の輪…「パンチニードル」刺繍の壁掛け

次に挑戦したのは、「パンチニードル」の刺繍。こちらは当日、他の方が体験している様子を見て興味をそそられ、その場で参加を決めました。

棒針編みやかぎ針編みの経験はありませんが、パンチニードルは初めての体験。専用の針を使うことで、直感的に自由な模様が編み出せるため、初心者でも創作の幅が広がります。

まずは編み出す柄と、使用する毛糸の色を選びます。あれこれ色を合わせ



藤野はるみさんによる、「つまみ細工でフォトフレームをかざろう」。

ながら悩んだ末に、私は黄色いお花をあしらうことに。他にも、この時期にぴったりなクリスマスツリーを選ぶ方や、自分のお名前にちなんだ模様を選ぶ方など、それぞれの個性が溢れます。和気あいあいとした雰囲気の中、先生や他の参加者の方々とおしゃべりしながら針を進めるうちに、小一時間でもことも立体感のある模様が完成。他の編み物や刺繍にはないぎざぎざと編み進める感覚や、短時間であつという間に模様が浮かび上がる達成感が癖になりそうです。

**好きが詰まった唯一無二の世界を  
覗く…「万華鏡」**

午後はひと時、スタッフとして「万華鏡」ブースのお手伝いもさせていただきました。ここでは、まささらな材料から万華鏡が完成するまでの一連の工程を体験でき、いちから組み上げていく体験は工作好きにはたまりません。特に楽しいのが、万華鏡の肝となるネタを選ぶ工程。様々な色や形の、ビーズやカラーフィルムを調合し、万華鏡の中に広がる世界を作っていきます。「これを入れたらどうなるだろう?」と何度も組み合わせを変え、小さな筒の中を覗きながら試行錯誤する



万華鏡づくり

参加者同士で互いに万華鏡を交換し合い、筒の中に広がる世界を共有する和やかな場面も。色々と試しながら唯一無二の世界を生み出し、それを共有する喜びを、側で見ている私も分けていただきました。

**無心で御神木と向き合う時間…  
「御神木磨き」**

他にも魅力的なブースが展開されている中、特に印象的だったのが「御神木磨き」。初めて見た時から「なんだ

それは?」と興味を惹かれておりましたが、小日向神社の御神木をひたすら磨くというなんとも面白い体験です。日々の忙しさを忘れ、ただひたすら目の前の御神木に向かう。その没頭感がたまらず、子どもたちの付き添いで来た保護者の方々が、待ち時間に無心で御神木を磨いている姿が印象的でした。

**好奇心くすぐる体験で広がる世界**

他にも、「ビーズアクセサリー」はこの時期にぴったりのリースのようなとても可愛らしいキーホルダーを作れ



小日向神社御神木磨き

る体験で、キラキラしたビーズにみなさん目を輝かせています。

「マイ箸」作りは、かんなを使って木の棒から箸を削り出す体験で、なんと樹種も選べるそう。自分で作った箸で食べるご飯やうどんは、想像しただけでおいしそうです。

「レーザー加工」体験は、金属製のカードケースに、オリジナルの絵柄や模様を入れる体験で、初めて見るレーザー加工機にみなさん興味津々。

レジンで作る「ヘアピン」は、ドライフラワーやラメなどを使って、オリジナルヘアピンを作る体験で、完成したその場で髪に飾っている方もいて、とてもお似合いで素敵でした。

また会場の一角には、自由に木材を使って工作できるブースも設けられ、体験の合間に子どもたちが各々のづくりを楽しんでいます。1日の終わりにはかなり立派な作品がいくつか並んでおり、子どもたちの創造力の豊かさには本当に驚かされます。

**ものづくりにまつて文京区!**

そんなクラフェスでの一日を振り返り、最も心に残っているもの。それはものづくりに没頭する参加者のみなさんの生き生きとした表情です。子ども



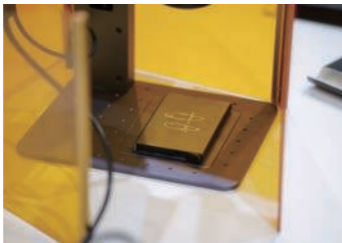
ビーズで作るアクセサリー



「マイ箸」づくり



UVレジンでフラワー入りヘアピンを作ろう



赤外線レーザー加工体験



自由工作コーナー「木でつくろう」



ブース配置図

と思います。

Oosでは、年に一度のクラフェスの他、クリスマスコンサートや、地域で活躍する方々のお話が聞けるmTALKなど、好奇心くすぐるイベントが年間を通して多数開催されています。「次はどんな世界に出会えるだろうか?」そんな期待を胸に、私もまた他のイベントにも参加してみたいと思います。



# 茗荷谷界限の人々

茗荷谷界限プロジェクト  
Shigen Inatomi

## 稲富 滋



MTALKの「m」は茗荷谷の「m」。茗荷谷界限に関係する有志を囲んで色々お話を伺おうと言う企画がMTALKです。

一昨年4月、茗荷谷駅近くにオープンした中央大学茗荷谷キャンパス。その2階に開設されたのが大塚地域活動センターです。その中のおよそ190平方メートルを「界限の皆さんのためのオープンスペース」として使い方を考えてください」と託されてきたのがMyogadani Lab。施設オープン3ヵ月ほど前のことでした。

私もその一員として、茗荷谷界限プロデューサー（少し大袈裟ですが）を拝命することになりました。

今は東京メトロの駅名と町会名にその名前を残すだけになってしまった「茗荷谷」を残していただきました。

私に声をかけていただいたのは、多分2014年11月から続いている「茗荷谷界限プロジェクト」と名付けたFacebookと2016年から毎年始めた「クッキーと桜めぐり」の企画運営がきっかけだったかもしれません。

### 茗荷谷界限の意味とMTALKのはじまり

サラリーマン時代、私は駅と自宅の往復だけ、買い物で三徳へ出かけるくらいで、地域のことは何もわからず、関わりもほとんどありませんでした。退職してからは、散歩の機会が増え、界限で過ごす時間が増えてくると、四季自然の移ろいや、地域の寺社仏閣の歴史を知り、図書館では古い町会誌を探して丸ノ内線建設秘話を読み、坂や暗渠を巡る地理的な面白さに気がつくとともに、界限には多くのこれまで知らなかった「そうだったのか!」や「あの場所ですんなりあったのか!」と、界限への興味が湧いてきました。長いこと不思議に思っていた「なぜ首羽通りにある警察署が大塚警察署なのか」という疑問も解くことができました。

これは私個人の経験でしたが、「界限のことを知りたい」と思っていたらっしやる方も、そうでない方も、知ればもっと興味が湧くはずと、「茗荷谷界限」限定のメディアを立ち上げて見ようと思ったのです。メディアといっても「インターネットで世界へ発信」的な大それたことではなく、あくまでも「茗荷谷 周辺」の「生活者のための生活者のメディア」として地道に小さ



な(でも生活者にとっては面白いはずの)話を取り上げたかったのです。地域のことは地域の生活者に任せて欲しい。

甚だ不遜ではありますが「私が面白いと感じることは、きっと他の方も面白いと思うはず」と勝手に決めつけていたかも知れませんが。幸い投稿メディアとしてはITの専門家でもなくても比較的簡単に投稿し、その記事を自分で管理できるツールが手近に、費用も掛けずに使える時代になりました。これを使わない手はありません。

フォーローしてくださる方が増えたせいか、NHKの朝の番組でも取り上げていただき「都内の隠れた宝石のよいうな街」と説明していただきました。

歴史、物語や名所・旧跡だけではなく、住んでいる(働いている)人にもお話を聞きたくなりました。普段買い物に寄るお店の方々、たまたま知り合った方、界限に本社があつて活躍する企業にも興味湧いてきます。

たまたま見えていた「タモリ倶楽部」今は放送終了となりましたが面白いが楽しい番組でした。せめて空耳アワーは残して欲しいな(「〜を見ていて全国のロックバンドが愛用する舞台用化粧品のほとんどが「三善」の製品、しかも本社は小石川であることがわかる

とさっそく飛び込み取材に出かけたり、たまたま散歩の途中で「何でこの街中に大理石の会社があるのか」と訪ねてみたり(矢橋大理石株式会社)買物ついでに二言三言お話しをするいつものお店についてももっと知りたくなりました。

茗荷谷界限プロジェクトとして初めて取材させていただいたのは久堅公園の上にあった「COCO muffin by kurumikikaku」という、土、日、月の三日間だけオープンする変わったマフィン専門店でした(残念ながら今は無くなってしまいました)。2014年12月4日でした。

以来、10年間に個別に取材させていただいたお店、企業数は180件を超えました。この間に理由は様々ですがかなりの数のお店の業態が変わったり、歴史的建物が消えてしまったりしています。リアルな世界の移り変わりを、インターネットの世界で記憶に残していくことも「茗荷谷界限プロジェクト」の役割かなと考えています。

中央大学の中に完成した大塚地域活動センターの「オープンスペース」活用を考えた時、これまで私が取材でお話をうかがってきた店主や界限の興味深い経験を持つ皆さんを囲んで直接伺う機会を作ってはどうかと

**長谷高史さん**  
小日向在住。1947年、文京区小日向生まれ。東京藝術大学大学院修了。様々な企業や建設省、地方自治体のデザインを展開。建設省の政策のデザイン導入を進めて、デザインによる魅力創りを指導。東京藝大では環境デザインの講師を務め、2004年から愛知県立芸大教授。2013年退官。現在名古屋教授。長谷高史デザイン事務所代表。

**藤原 海さん**  
1989年、秋田生まれ。高校卒業後、消防士として東京へ。2022年6月、大塚三丁目「ノティバイバーガー」開店。秋田県産食材にこだわり、秋田牛や比内地鶏を使用したバーガーを通じて、東京の人たちに秋田の魅力や伝えようと邁進中。趣味は登山と釣り、体を動かすこと。ノティバイバーガー店主。

**平松美幸さん**  
窪町・文京一中卒業。高校・大学時代はアメリカ・オレゴン州ポートランドに留学。2021年10月、生まれ育った地元茗荷谷にクラフトビール専門店「WEDGE Bottle Shop & Pizza」をオープン。クラフトビールを通して、その背景にあるローカルやコミュニティのつながり、魅力や楽しさなどを紹介し続けている。株式会社代表取締役。

**アルビーさん**  
飾らない気さくな人柄のフランス系イタリアン。22年前にトリノからスペインへ。マドリードのイタリアンレストランで約1年働き、イギリスに渡り15年。ロンドン市内の幾つかのレストランでシェフを務めた。パスタなどの定番料理だけでなく、ヨーロッパやアメリカのテイストを取り入れた遊び心のあるメニューが得意。Café Orientale店主。

提案させていただきました。これがMTALKの始まりです。

**これまでのMTALK**

2023年の第1回は、僭越ながら私が「茗荷谷界限プロジェクトと界限の地図作り」。2014年に始めた動機、これまでの取材、界限の地図作りなどについてお話しさせていただきました。大塚オープンスペースの壁にも同じ地図が、皆さんに書き込んでいただける白地図も用意されています。(6月)

第2回は、お茶大向かいの秋田の素

第3回は、「Café Orientale」のアルビーさんのお話。イタリア、トリノ出身のアルビーさん、来日約1年で奥さんと共にカフェを竹早公園近くに立ち上げました。スペインのレストランで働き、ロンドンで15年。この間いくつかのレストランでシェフを務めていたアルビーさんの手料理とイタリアのおばあちゃんに習ったお菓子は他で味わうことはできません。英会話やイタリア語教室も盛況です。世界を巡ってきたアルビーさんのお話は楽しかったですね。(9月)

第4回は長谷先生のデザインの話。小日向にお住まいの愛知県立芸術大学名誉教授長谷先生は、東京藝術大学在学中からこれまで多くの分野で活躍を



**稲富滋さん**  
茗荷谷在住。大学卒業後、IT会社に勤務。現在は広島大学広報アドバイザー。フランス磁器輸入販売をしながら茗荷谷界限の情報発信に邁進中。最近は、界限のお地風様、10とスイーツのMAPを発行。茗荷谷界限プロジェクト主宰。





**藤瀬寿美恵さん**  
福岡県宗像市出身。文京区で3人の子育てを終えた後、2019年に茗荷谷駅そばで小さなセレクトショップを開業。宝探しをしにみるみないな、「いつも私のそばにある居心地よいローゼット」をコンセプトに、衣服やバッグ、加工食品、生産者の顔が見える品々を揃え、訪れるたびに新鮮でワクワクする空間を提供した。2025年2月に開店。

**山田麗子さん**  
共同印刷株式会社グループコーポレート本部コーポレートコミュニケーション課部長。1973年神奈川県生まれ。1995年共同印刷に入社し、出版印刷営業として学研や講談社などを担当。2007年経営企画部門に異動し業績分析やIRを担当。21年広報課長に就任。24年より現職。一男一女あり。週末は川や湖でボートを漕ぐ。

**白井幸子さん**  
長野県長野市生まれ。日本で初めて「ミルク酵母のパン」を作ったパン屋さんとして全国にも有名な「マルツァイト」の創設者。2000年、文京区大塚3丁目「マルツァイト」をオープン。ワイン・チーズのセミナーも開催し、2003年「ショヴァリエ・デュ・タストフロマージュ」(フランスチーズ鑑評騎士)に就任される。



**酒井純子さん**  
ウォーキング・コンテストトレーナー/ミセスユニバースジャパン日本大会2023カサランカ部門優勝。歩く技術と共に大切な事はマイツド作りです。自信を持つこと、周りを気にして恥ずかしがらないことをウォーキングレッスンの中に取り入れ楽しく歩くことで女性が明るく楽しくなることを目的に活動している。

**山田浩之さん**  
1998年3月に1930年代ハーレムの伝説的シンガー、フランク・マニング氏を東京に招聘し、Tokyo Swing Dance Society を立ち上げた。2000年には海外で初となるフランク・マニングのオフィシャルBirthday Bashを開催した。2014年に東京都文京区白山にシンデレラホップ専用スタジオのStudio Nicolaを開業。毎日レッスンを開催している。

**水上 かさ**  
1948年東京都生まれ。和菓子職人の家に生まれる。大学在学中に和菓子職人を志し、京都、名古屋で修業を積み、1977年、文京区小石川に「一年庵」を開く。京菓子を江戸菓子を融合した和菓子は、茶人や和菓子愛好家のみならず、国内外の有名パティシエ、ミツ星シェフにも愛される。著書「IKKOAN 一年庵 72の季節のかたち」など



されています。都バスのデザインも先生の作品。デザインコンペで岡本太郎、真鍋博氏らを抑えて採用されたそうです。環境デザインの専門家でもある先生は小日向台町の環境デザインでも活躍中です。(10月)

**2024年**  
第5回は、駅近くのクラフトビールとピザの「WEDGE BOTTLE SHOP & PIZZA」の平松オーナーにお願いしました。米国のポートランドに留学した平松さん。ホームステイ先のホストファミリーの名前を店名にして渋谷店をオープン、続く2店舗目を生まれ育った「茗荷谷」にオープンしました。(2月)

くにあって「日本のLindy Hopの聖地」とも呼ばれる「Studio Nicola」のヒロさん。ヒロさんとLindy Hopの出会いから、神様と呼ばれたフランク・マニング氏の招聘その後の展開など興味深いお話に続き、会場にSWINGミュージックが流れる中、会場の皆さん全員でヒロさんからLindy Hopの手解きを受けるなど、外の寒さを忘れる熱気あふれる会となりました。(1月)

第10回は茗荷坂の人気店(だった)「生活雑貨の店 hibi」の店主、藤瀬さん。開店から5年目の今年、諸般の事情により閉店を決めました。一主婦が一念発起開店に至るまでの苦労、お店の経営から、閉店を決意するまでの貴重な体験を語っていただきました。(2月)

第11回の体験会は、格好良く歩くにはという「心と姿勢を整えるヒールウォーク」。2023年スペインで開催されたミセスユニバース3位となり、現在もコンテスト参加を目指す生徒さんに指導を行う酒井さんをお願いしました。初の女性のためだけのイベントとなり、お話の前と後の皆さんの歩く姿勢が随分と変わりました。(3月)

第6回は日本で唯一「ミルク酵母のパン」を作っている「マルツァイト」の白井店主。ミルク酵母パン作りに成功するまでの苦労や、そのパンを売り込むための「苦労」と熱のこもったお話でした。たまたまこのお話をしていたいた時が「マルツァイト」を次の方に譲り、ご自身は長野県の小諸に「マルツァイトはなれ」を作ることになる時期と重なりました。(4月)

第7回は和菓子の世界の大御所「一年庵」の水上さん。mTALKを最初に考えた時からお話を聞きたい人リストの筆頭でした。「和菓子とは」というお話だけでなくお店からご家族の協力で材料運び込まれ、和菓子作りの実演や体験もありの大盛況でした。(5月)

第8回は地元一番の老舗企業で、千川通り一帯が「印刷業の街」となるきっかけを作った、「共同印刷株式会社」。会社と地域との関わり、歴史から、界限の皆さんが知っていたかった新本社ビルのこと、現在の仕事の概要などお話しいただきました。(10月)

**2025年**  
第9回は体験会で、植物園の正門近

**Oosの楽しみかた**

これからも皆さんご存知の界限のお店や、興味深いご経験をお持ちの皆さんのお話を予定しています。ぜひ、お楽しみにしてください。

オープンスペースの一角には小石川図書館の皆さんによって、mTALKや、そのほかの催し物に合わせた「テーマ」を選び、関連した本が並べられますが、そのテーマが秀逸です。例えば「時間」「好期到来」「ゆく年のうつろう寒暖」「夜のとばり」、お正月には福袋ならぬ「福本」。それぞれどんな本が集められたのか興味が増すでしょう。図書館員の皆さんの「テーマ」選びとその「選書」を折々眺めるのもオープンスペースを訪れる楽しみの一つでしょう。

ちなみにぬいぐるみが何点か置いてありますが、これは「茗荷谷界限プロジェクト」の提供品。季節の衣装替えは図書館サービスカウンターの有志の手作りです。お楽しみください。

オープンスペースでは、この他にもコロナ禍で中断していた「第5回クッキーと桜めぐり」の福引とお菓子の交換所としても使わせていただきました(2024年3月)。2025年以降も開催いたします。

MITAMIYO!!は、文京区内の子どもがつくる地域情報誌（ローカルマガジン）のプロジェクトです。もともとは、2012年に静岡県伊豆市で始まった、COLOMAGA projectの文京区版です。現在では全国19カ所に広がって、各地域の子どもたちが同じ活動をしています。2018年にキッズデザイン賞、2023年にグッドデザイン賞を受賞しました。

最新号は、文京区の子どもたち（小学校4年生〜6年生）18人が、プロのクリエイターと一緒に、白山地区と千石地区を取材し、文章を書き、イラストを描き、写真を撮り、記事にまとめました。それをプロがデザインしてローカルマガジンを創りました。

Oosでは、2025年2月8日〜20日に、これまでに取材したVol.1大塚、Vol.2音羽・関口、Vol.3本郷、Vol.4春日・小石川、Teens Verでは、区内の企業のダイジェスト版や、子どもたちが描いたイラスト、さらに全国のCOLOMAGA projectの紹介を展示。さらに2月15日には、最新号の子どもたちの完成発表会を開催しました。

「クリエイターチームカラフル」の仲間達とMITAMIYO!!プロジェクトを主催し、文京区の子どもたちにクリエイティブの楽しさを伝えていく(株)カラーコードの浅井由剛さんにお話をうかがいました。

# 展示と発表、未来が記す今。

## 浅井由剛

株式会社カラーコード代表取締役

京都芸術大学 准教授

武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒。

大学卒業後、3年間、世界各地を游学し多様な価値観や生活様式の相違を学ぶ。帰国後、食品雑貨業界、アパレル業界を経て2008年株式会社カラーコード設立。企業のCI、店舗・サービスのブランディングを手掛け、デザイン制作経験を活かしたデザイン講座や企業研修の講師をおこなう。また、子どもたちとローカルマガジン制作の活動「こどもローカルマガジン COLOMAGA project」を起し、その文京区版のカラフルを結成する。2018年キッズデザイン賞受賞・2023年グッドデザイン賞受賞。

## クリエイターチーム カラフル

アーティスト、デザイナー、イラストレーター、ライター、フォトグラファーなど、さまざまなクリエイターが集まり、子どもたちの創造力を育むワークショップを行うチーム。

これまでに、工作のワークショップや、壁一面に自由に落書きができるワークショップなどを企画・実施してきました。現在は、COLOMAGA projectの文京区版 MITAMIYO!!の制作活動を担っている。

(株)カラーコード／クリエイターチームカラフル  
Yugo Asai

# 浅井由剛





発表を終えた笑顔の子どもたち



左側パネルでは、歴代のMITAMIYOの活動を紹介します。

正面は、今回のMITAMIYOVOL.5の子どもたちが実際に描いたイラストを展示。

右側パネルでは、COLOMAGA projectの静岡の活動を紹介します。

### MITAMIYO!!は、大塚から始まった

もともとMITAMIYO!!は、ここ大塚地域で第1号が始まっているので、Oosで展示できたことは、本当に良かったと思います。

その頃は、僕も文京区に引っ越してきてまだ2〜3年しか経っていない時期で、このまちの右も左もわからなかったのです。ところが、MITAMIYO!!でいろんなところに取材の申し込み行なって、地域に住んでいる町会の人達とか、区役所の人達とかにこちらから話しかけていくことで、文京区の大塚の中にぐっと入り込んで行けたのが大きな出来事だったのです。そうすると、それまでお客さんのように文京区に住んでいたのですが、いきなりこちら側になったという経験があって、1号目のここ大塚は、とても思い出深い地なのです。

### 静岡で始めたプロジェクトを、ここ文京区で、さらに全国で

MITAMIYO!!は、静岡で始まったCOLOMAGA Projectの2番目の地区で、一番初めは静岡県伊豆市から始まりました。

最初はデザインの授業として、子どもたちと一緒にフリーペーパーを作ったら、デザインの作業のいろんな事に開かれるので、勉強になるなあと思っ始めたものです。

もともとはデザインの切り口で入ったのですが、それでいざ作ってみたら、子どもたちの感想を聞くと、「自分が生まれて暮らしている町が、こんなにいい所だということに全然知らなかった」「こんなにこの町が好きで一所懸命仕事している大人がいることを知ってびっくりした」と、そんな回答が多くて、このプロジェクトが、子どもたちの地域愛を醸成する活動になっていくということが分かったのです。

だったら、これを「地域愛を育てて地域を活性化する活動+デザインの活動」としてやっていけるんじゃないかと地元の人達と話をして、十年間これを続けていって、どんな影響があるかを実験してみようということで本格的に活動を開始したのです。

それで、その2〜3年後に、このプロジェクトの2番目として始まったのが、文京区のMITAMIYO!!なのです。その時は、伊豆市の事例があるので、そのまま仕組みは持ってきたのですが、プロジェクトの効果が全然違ったのです。それは、子どもたち自



子どもたちによる発表 © Inc.COLORCODE

になっていきます。冊子になったのが12冊になっていて、その全国のプロジェクトのことも文京区のみなさんに知ってもらいたくて、今回Oosで展示させてもらったのです。

### Oosで、活動の展示と発表

展示では、各地域でどんなことをやっているのかを紹介しています。右側は静岡の活動。左のMITAMIYO!!側は、その歴史を出したいということで1、2、3、4号と、「ティーンズ」という中学生と一緒に作った冊子を見せています。

身というよりは、自分自身が大きく変容した実感があった、「文京区の中にやっと入れたな」というのが、自分自身の大きな成果だったのです。

文京区の子どもたちは、地域の誇りとまでは言わないのですが、自分たちの描いた絵や文章が、実際の冊子になって、手に取って読めるというのがものすごく嬉しかったようです。そうすると、子どもたちのさらなる創造性の醸成に貢献できることがわかって、もっとこの活動を広めて行こうと思っただけ5年ほど前のことでした。

5年経って、いま全国で19カ所の地域でこのプロジェクトを実施するまで



子どもたちの取材活動の様子（童心社にて） © Inc.COLORCODE

それらを見ると、今は無くなってしまったものがけっこうあるのは寂しいですね。茗荷谷駅前のブックスペースとか、ステーションナリーズも無くなっているし、大矢スポーツの隣の花屋、フレールもなくなっていて、そういうのを見ると、ずいぶんこの辺りも変わってしまったんだなって思います。でも、その時の子どもたちが記録してくれていたのは、喜びでもありませんね。

Oosは、すごくきれいなスペースで、これだけ人が入ると、全然雰囲気の違いですね。壁で閉鎖されているより、こうして開放的な空間になっていると、子どもたちのびのびとした気持ちで発表ができたと感じています。保護者の方々も子どもたちの活動を一所懸命応援してくれていて、きつと喋りたいことはもつといっぱいあったに違いありませんね。(笑)

Oosに立ち寄った人が、活動のことを知ってもらって、またWEBとかで確認してもらえたらいいなと思っています。ここは告知を広めるためのパブリックスペースで、最終的には、MITAMIYO!!の実物を読んでもらいたいのです。紙の冊子や本を読むということ、やはり特別な体験ですから、あらためて。





## Oosイベント一覧(令和5年度)

### ●企業・団体との連携企画

11/8(水)、2/3(土)【印刷博物館】マイノートをつくろうー中綴じ製本体験<sup>\*a</sup>  
 12/14(木)、2/8(木)【アリス館】絵本の読み聞かせとおもちゃ作り  
 1/20(土)【パイオニア株式会社】移動に困る人のための音声ナビを考えよう<sup>\*b</sup>



### ●大学との連携企画

【跡見学園女子大学】7/5(水)～14(金)第4回「文の京書道展」展示  
 8/23(水)～26(土) 書道部員の作品展示  
 8/25(金)「跡見学園女子大学書道部 書道ワークショップ」  
 9/13(水)「全国大学書道学会会員による現代書芸術の探求展 ギャラリートーク」<sup>\*c</sup>  
 9/13(水)～20(水)「全国大学書道学会会員による現代書芸術の探求展」展示  
 【中央大学】  
 8/28(月)「夏休みの宿題終わっていない人集合!中大生と一緒に勉強して遊ぼう!」  
 11/4(土)「ほっとひと息 中央大学の学生とお話しませんか」  
 12/2(土)「めざせ!かがくはかせ」  
 3/9(土)～14(木)写真展示『踏み込み』文化連盟写真研究部  
 3/10(日)「手作りカメラ体験ワークショップ」文化連盟写真研究部<sup>\*d</sup>



### ●mTalk(茗荷谷界隈トーク)

6/20(火) VOL.01「茗荷谷界隈を語る。」稲富 滋(茗荷谷界隈プロジェクト主宰)  
 8/22(火) VOL.02「店主 秋田を語る。」藤原 海(ノーティバイバーガー 店主)  
 9/28(木) VOL.03「アルビーさん 世界と茗荷谷のまちを語る。」アルベルト(Café Oriente 店主)  
 10/12(木)VOL.04「みんなで、デザインの話しよう。」長谷 高史(環境デザイナー)  
 2/21(水)VOL.05「クラフトビールからはじまるサードプレイス」平松 美幸(WEDGE Bottle Shop & Pizza 店主)<sup>\*e</sup>



### ●Oos Talk(大塚地域外の方によるトーク等)

8/10(木) VOL.01「地域がつながるイベントの魅力」小石川植物祭実行委員会  
 10/17(火) VOL.02「文京区の工作室」私市瑞希、私市憲司(もくもくはりねずみ)  
 3/5(火) VOL.03「生き物のある暮らしと「苔テラリウム」」古泉敦寛(チャーム)  
 3/8(金) VOL.04「学生が深掘する地域の銭湯の魅力」岡嶋良太(大黒湯)、古澤実怜(行こうよ!文京浴場)～学生プロジェクト～代表、土岐充(東京ケーブルネットワークディレクター)<sup>\*f</sup>



### ●自主企画

6/10(土)、24(土)「巡ろう!! 中央大学茗荷谷キャンパス&Oos×ボードゲーム交流会」<sup>\*g</sup>  
 7/13(木)、8/10(木)、9/7(木)、10/12(木)「生まれ!! 親子で一緒に遊べるオープンスペースイベント」<sup>\*h</sup>  
 7/17(月祝)「踊ろう!! 今こそ参加したい、大塚地域の夏&秋祭り 盆踊り練習会」  
 10/22(日)「ChatGPTと友達になろう」  
 11/23(木祝)「もくもくはりねずみ」クラフトフェスティバル  
 12/12(火)【芸術創造研究所】臨床美術ワークショップ  
 2/17(土)「初めての方向け!!今年こそ練習して、準備しておきたい 盆踊り練習会」<sup>\*i</sup>  
 3/20(水祝)【パイオニア株式会社・小石川図書館】サントラレコード・コンサート  
 3/22(金)～24(日)【茗荷谷界隈プロジェクト】Oos企画紹介展示



### ●文京区事業

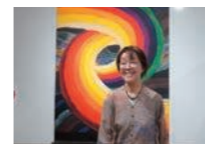
毎月第1・3金曜日【高齢福祉課】フレイル予防体操・スマホ相談等  
 12/3(日)【児童青少年課】ポッチャ練習会(大塚青少年健全育成会)<sup>\*j</sup>



## Oosイベント一覧(令和6年度)

### ●企業・団体との連携企画

4/11(木)、6/13(木)、8/1(木)、10/10(木)、12/12(木)、2/13(木)【アリス館】絵本の読み聞かせとおもちゃ作り  
 4/27(土)【東京ケーブルネットワーク】「小学生アナウンサー体験教室」土岐充(東京ケーブルネットワークディレクター)<sup>\*k</sup>  
 5/1(水)～26(日)【童心社】「おしいれのぼうけん」複製原画展示  
 5/7(火)【童心社】紙芝居のおはなし会とおもちゃ作り  
 5/12(日)【童心社】「担当編集者が語る「おしいれのぼうけん」のひみつ」酒井 京子(童心社 会長)<sup>\*l</sup>  
 9/28(土)【文研出版】キャベツくんとバンジーチャイム  
 11/17(日)【印刷博物館・b-lab】マイノートをつくろうー中綴じ製本体験  
 12/14(土)【ひさかたチャイルド】オカピぼうやのちいさなぼうけん～読み聞かせとアフリカ音楽<sup>\*m</sup>  
 12/21(土)【岩崎弘記念文京ジュニア吹奏楽団】「クリスマスコンサート」  
 1/13(月祝)【文京区スポーツ推進委員会】「ポッチャ体験会」



### ●大学との連携企画

【お茶の水女子大学】6/16(日)「つくって学ぼう車のしくみ」おちゃっこLab<sup>\*n</sup>  
 9/21(土)「水と油の分離についてかんがえよう!」おちゃっこLab  
 3/2(日)「紙のお花を咲かせてみよう!」おちゃっこLab  
 【跡見学園女子大学】7/2(火)～7/12(金)第5回「文の京書道展」展示  
 【中央大学】 8/18(日)「大塚探検隊!～地域の魅力、再発見～」寺社巡りサークル<sup>\*o</sup>



### ●mTalk(茗荷谷界隈トーク)

4/22(月) VOL.06「日本で唯一!ミルク酵母のパンを茗荷谷から」白井 幸子(マールツァイト)  
 5/21(火) VOL.07「京の見立て うつしの江戸」水上 力(一幸庵)  
 10/15(火) VOL.08「共同印刷界隈のいまむかし物語り」山田 麗子(共同印刷株式会社)<sup>\*p</sup>  
 2/28(金) VOL.09「生活雑貨の店 hibi物語」藤瀬 寿美恵(生活雑貨の店 hibi)

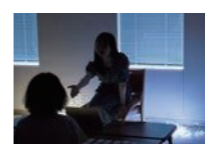


### ●Oos Talk(大塚地域外の方によるトーク等)

12/12(木) VOL.05「福祉のしごとを始めて感じた魅力」林家 久蔵、伊藤 伴樹<sup>\*q</sup>

### ●自主企画

6/1(土)、22(土)【図書館総合研究所】AIで小説を書いてみよう<sup>\*r</sup>  
 7/15(月祝)「オトフェス 音のまち文京区2024」<sup>\*s</sup>  
 11/17(日)「世界の中から自分にあった進路を見つけよう!海外大学入門講座」谷村一成(NPO法人みんなの進路委員会 代表)、川崎莉音(NPO法人#Your Choice Project代表)  
 11/23(土祝)「もくもくはりねずみ」クラフトフェスティバル  
 1/18(土)「Oos体験会:初めてのリンディホップ」山田浩之(東京スウィング・ダンス・ソサイエティ)  
 2/8(土)～20(木)MITAMIYO!! 制作展示  
 2/15(土)【MITAMIYO!! 完成発表会】クリエイターチーム カラーコード  
 3/6(木)「Oos体験会2:心と姿勢を整えるヒールウォーク」酒井純子(ウオーキング・コンテストトレーナー)  
 3/16(日)【東京大学】「片付けなくていい家」を考えよう! ずばらお片付けセンター  
 3/8(土)～19(水)【東京大学】「お片付けアイデア」ずばらお片付けセンター

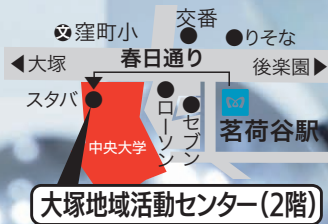


### ●文京区事業

毎月第1・3金曜日【高齢福祉課】フレイル予防体操・スマホ相談等<sup>\*t</sup>  
 6/7(金)～12(水)【スポーツ振興課、みどり公園課、真砂中央図書館】竹早公園・小石川図書館一体的整備基本計画(中間のまとめ)パネル展示  
 10/31(木)【予防対策課】令和6年度文京区自殺対策講演会  
 1/13(月祝)【児童青少年課】ポッチャ練習会(大塚青少年健全育成会)  
 1/16(木)【リサイクル清掃課】フードドライブ出張回収臨時窓口  
 1/30(木)【アカデミー推進課】メセナ講演会(公益財団法人文京アカデミー)



# ほいざいガムラン



**Oos**  
MAGAZINE EPISODE.1

2025年3月31日発行

発行：大塚地域活動センター オープンスペース企画事務局  
(運営：図書館流通センター／Myogadani Lab.)

E-mail：otsukaop@gmail.com

制作：Myogadani Lab.

Oos住所：文京区大塚 1-4-1 中央大学 茗荷谷キャンパス 2階

